

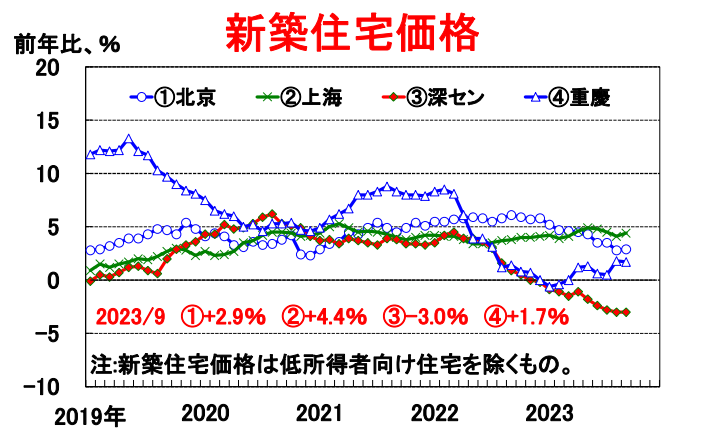
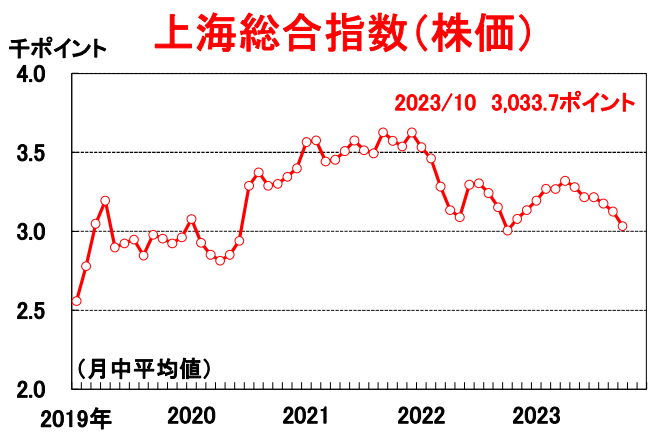
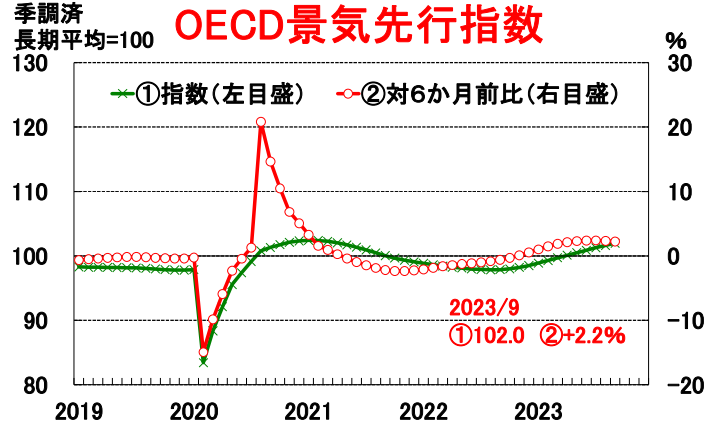
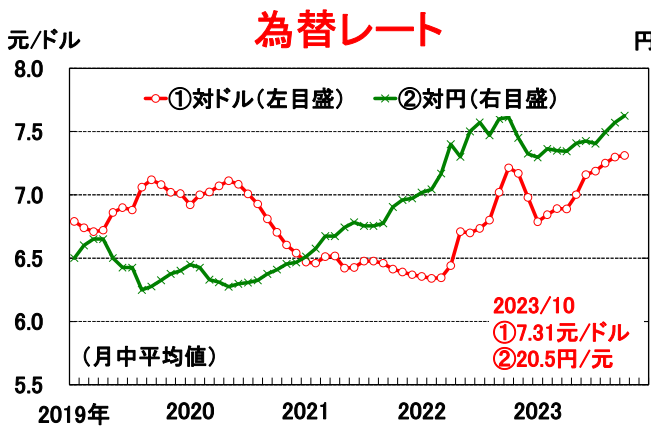
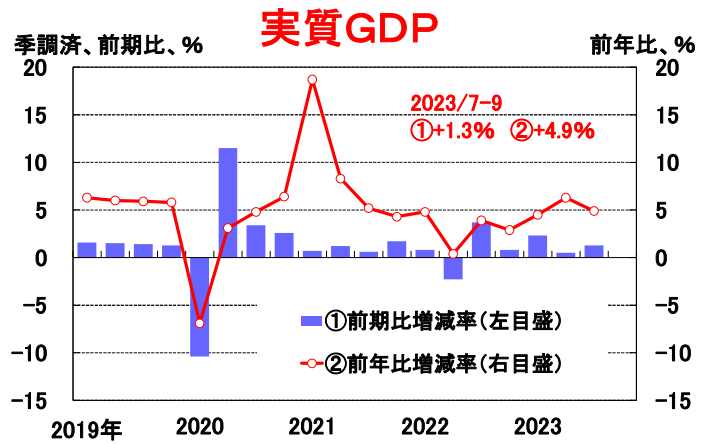
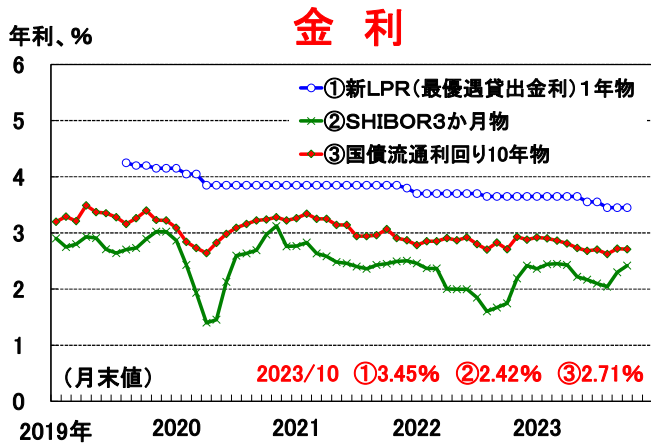
グラフで見る中国経済 2023年11月号(No. 174)

中国の7~9月期の実質GDP(国内総生産)は前期比+1.3%(前期は同+0.5%)と伸び率が高まった。習体制による景気下支え策強化の効果が表れたと考えられる。直近の月次指標にも景気底入れの兆しがみえる。まず、個人消費の動きを表す小売売上高は、減税などの効果により、9月に前年比で増勢が拡大した。また同月の固定資産投資は前年比で小幅に増加した。ただ、同月の住宅販売面積が前年比で5か月連続の2桁減と弱含み、10月の輸出も6か月連続で前年割れとなるなど、中国景気の回復力は依然強まっていない状況である。

【足元の景気判断】

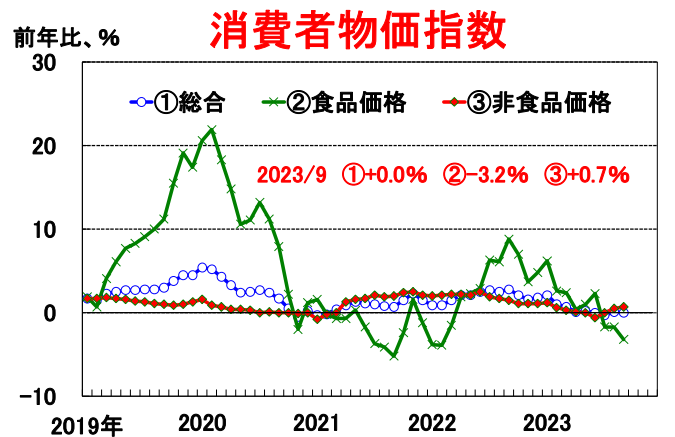
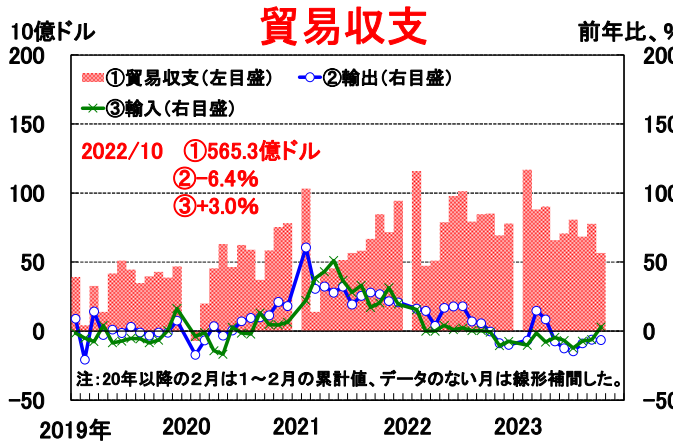
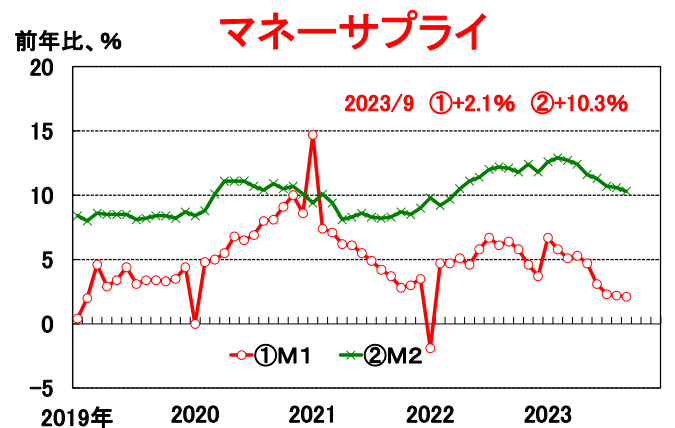
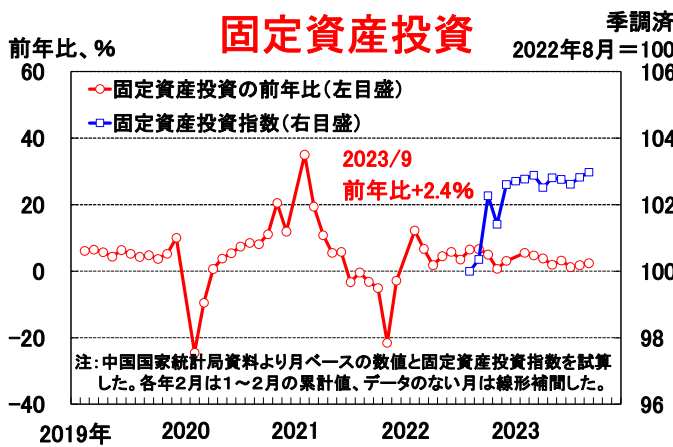
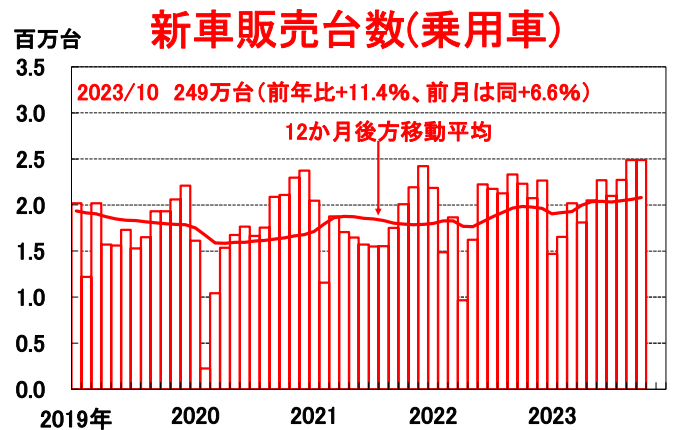
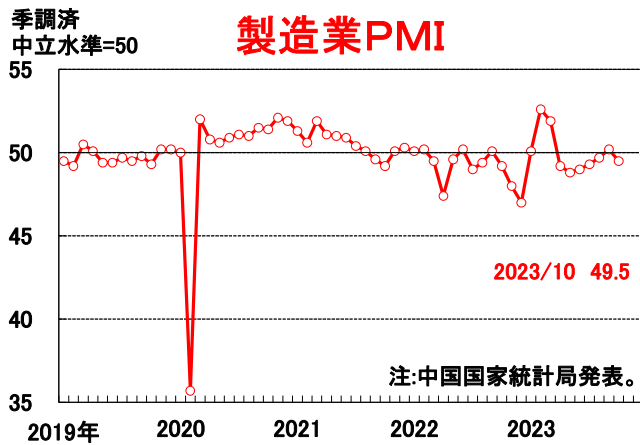
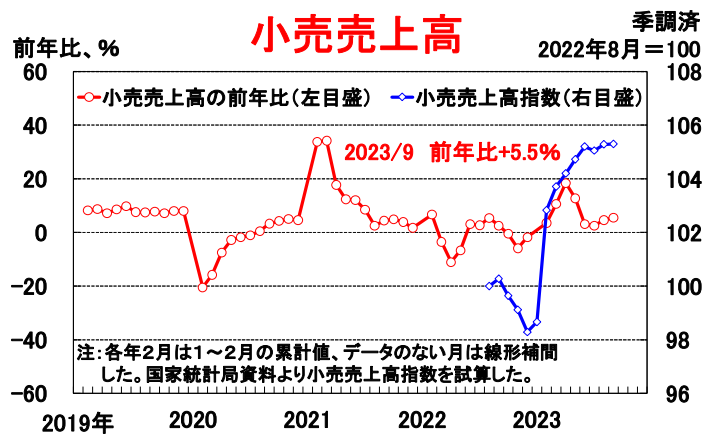
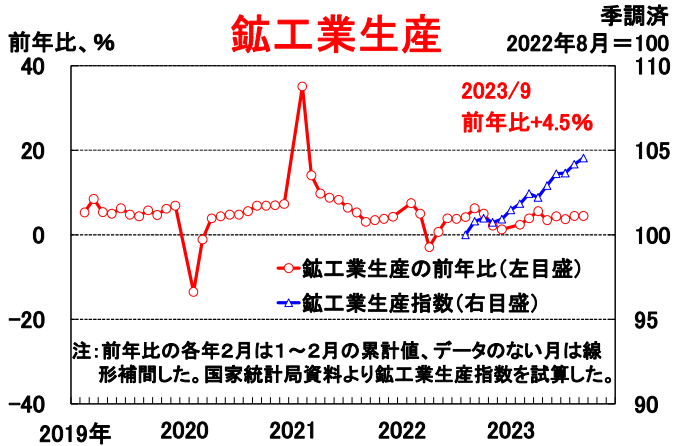
指標	景気全般	輸出	固定資産投資	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	➡	⬇	➡	➡	➡	➡

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽车工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。